



inhand

設計図面コミュニケーションプラットフォーム





思考の伝達を無限大に。これからはこっちだ。



それ、図面の中で話そう！ inhand

古い慣習がたくさんある建築現場に劇的な革新を起こしたいと考え、
図面をコミュニケーションツールとするウェブサービスを作りました。

それは手元のあらゆるデバイスで、即時的に施工現場に必要な
詳細情報、課題、そして関係者コミュニケーションを手に入れる事が
可能となります。

古くからの手法を全く違う物にするのではなく、
合理的に融合させる事で別次元の物に進化させたのです。

日々同じ事を繰り返していても
異なる結果を期待できるはずもない。
しかし、単純に大切な事を積み重ねる事こそ重要。

私たちは図面の可能性を最大限に高めることで
それを成し得ると信じています。
さあ建築現場を進化させよう。



インハンドとは

インハンドは建築現場の為の設計図面をコミュニケーションのプラットフォームに使うこれまでに無い WEB サービスです。建築現場で職人さん達がストレス無く使えることを追求したので、使い方は極めてシンプル。複雑な動きや文字による検索に頼らず、紙の図面をめくっては戻るように直感的な操作感を実現しました。

目指していること

目指しているのは、建築現場のコミュニケーションロスを防ぐこと。無駄な作業時間・コストを削り、電話・FAX・メールなどの古いツールによる非効率性を解消することです。

また、複数の現場を少人数でチェック機能を持ちながら管理する事ができる為、ミスや漏れを防ぐと同時に、同じ人員でもより多くの現場管理を可能にします。

お施主様とのコミュニケーションの進化。インハンド内で閲覧権限を分けることでプライベート情報を守りながらタイムリーに自邸の現場進捗をお施主様自身で確認することができます。

どんな仕組みなのか

図面の中に図面を埋め込む

ネット環境があれば、どんな場所からでも設計図面をインハンド上にアップし、その図面の中にピンポイントで詳細な施工方法や必要画像などの様々な情報を埋め込むことができます。具体的にはアップしたベース図面に「青ピン」を立てて必要 PDF をドラッグ & ドロップで簡単登録。建築現場の多岐に渡る情報に手元からダイレクトにアクセスできる仕組みです。

従来の現場管理システムのようにフォルダの中に設計図面と詳細図面を格納していくのではなく、図面そのものに情報を埋め込むので、直感的に必要な情報にアクセスができます。

変更もタイムリーに反映し、関係者に通知可能。変更された箇所の通知はその内容に関係する業者のみに通知する事ができるので、多くの変更通知に埋もれる事なく確実に必要な作業者に届ける事ができます。

また未決定や変更途中の部分は図中にその旨を記載できるので、見切り発車も防げます。つまり、紙で設計図面と施工詳細を管理し指示していた時とは違い、現場に行ったり、FAX やメールを関係者に全員に送信する事が不要となります。

図面の中で課題解決ができる

図面に情報を埋め込むという機能から派生して、図面のピンポイントの場所に「赤ピン」を指してチャットを立ち上げることができます。関係者同士での質疑応答が手元から図面を真ん中に置いた認識ミスの無い状態で行えるのです。

管理会社側では「赤ピン」が立った場合、問題解決に必要なメンバーに指示・質疑に期限を設けて依頼する事ができ、依頼されたメンバーはその内容に対する解決案をスマホやタブレットを用いて返答することが可能です。管理者に対しての現場からの質疑応答も同じように行うことも出来ます。

管理会社側ではデスクから現場から「赤ピン」で立てられた課題を確認し、解決に必要なメンバーに指示・質疑に期限を設けて依頼する事ができ、依頼されたメンバーはその内容に対する解決案をスマホやタブレットを用いて返答することが可能になります。管理者に対しての現場からの質疑も同じように行うことも出来る為、インハンドは相互コミュニケーションツールとなっていきます。

ある日の監督さんのひとこと

現場を切り盛りする現場監督の A さん。ある日朝から大工さんと設備屋さんが険悪ムード。どうしたのが詳しく聞くと変更前と変更後の図面の 2 種類で意見の食い違いが生まれていた。お互い真剣だから起きたトラブルも前段階で処理できなかったものか…悩んだ A さんからの相談で生まれたのが「inhand」です。



図面機能

機能の最大の特徴は**図面内に図面情報を埋め込む事ができる**という事であり、インハンドが独自に開発した他にはない機能です。インハンドは無駄な時間と労力を省き時間と人員に大幅な余力を創出する画期的なウェブサービスなのです。

知りたい箇所に情報を埋め込む

自分が知りたい情報の箇所をタップすることでその情報に辿り着く事ができ、従来のフォルダ分け方法とは違い直感的に操作が可能。また、知りたい箇所に情報が埋め込まれてない場合は、チャット機能を立ち上げ、そこに必要情報を登録することで即座に見れる様になり、他の関係者にも開示されるので現場全体での共有事項となる。

変更履歴は蓄積されていく

過去のやりとりを含め経緯が記録される為、データの整理に役に立つ事も大いに作業の効率化と言える。

膨大な資料習慣から脱却

設計図面は膨大な枚数になるもので、従来は紙ベースで管理しており、変更の度に差し替えを必要とし、周知にメールやFAXといった一方的に送るといった確実に伝わったかどうか不明なツールを使い、確実なのは手渡しでこれには無駄な時間を割く必要がある。



利用方法



①図面の見たい箇所を選択する。



②ベース図面を確認し該当箇所へ進む。



③図面の中にあるさらに詳細な図面を確認出来る。

チャット機能

設計図面の任意の場所にピンを立てる事で、どの場所で施工に支障（質問）が生じているのかを管理者が把握する事が出来、スムーズな問題解決へのコミュニケーションを可能にしました。

ピンの種類で項目を分ける

赤いピンは課題解決の為にコミュニティチャット、青いピンは配置・設置する製品に関する情報と色ごとに分け視認性よくストレスを軽減。

1つの問題をみんなで共有

例えば大工さんと階段の図面上で質疑応答のチャットを行いながら、ユニットバスの質疑応答を設備業者さん・電気業者さんとチャットを行うなど共有を行い全員認知を可能とする。

言った言わない論争終結

このチャット履歴はアーカイブされて残され、万が一の際に言った言わないのエビデンスになり、現場ストレスの軽減に取り組む事が出来る。



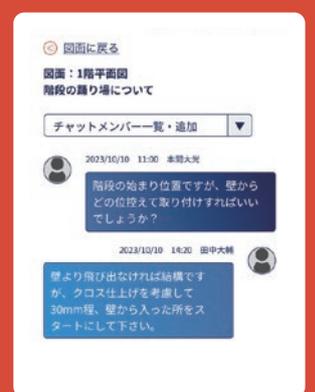
利用方法



①発言者が図面を選ぶ。



②図面の任意の位置にピンをセットする。



③チャットを開始。
チャットは、テキストや画像のやりとりが可能であり、ピン毎にチャットメンバーが選べる。

カレンダー機能

工程の変更がある事は工事現場の常であり、管理者が変更の必要性を判断した際に素早く変更し、関係各所に通知することで無駄な発注や労力を費やす事を未然に防げる機能となります。

簡単登録&簡単変更

インハンドの工程管理は工事項目が事前に登録されているので、日時と項目をスクロールして選択すれば良いだけの簡単作業で変更が可能です。

現状の共有で無駄足を削減

自分の受け持ちの工事日程が近づくにつれ実際の現場の状況を職人さんは知りたいもので、工程通りに現場が進んでいないと無駄足を踏むこと。インハンドは職人さんのストレスを防ぎます。

必要な通知だけアナウンス

会社から FAX、電話連絡、メールを送る必要はなく、作業従事者からすれば自分に必要なアナウンスのみ通知されるため、無視するといった事も防げる効果があります。

利用方法



①イベントを選択方式で入力可能（任意入力も可）。



②各現場ごとの工程を入力および閲覧可能。



③現場のイベントと自分のスケジュール確認や調整が即座に可能。

どのような効率化が起こるか

膨大な紙資料が不要に

- 紙の情報が最小限になり手元のデバイスで完結する
- 膨大な紙の束が不要となり、必要なものを印刷すれば大丈夫

タイムリーな情報伝達

- 必要な更新情報が必要な人にすぐ通知される
- 施工管理側からの電話や FAX、現場に行くなどの時間を大幅カット
- カレンダー機能でスケジュール管理も現場で自走できる

トラブル解消のスピード化

- 現場で起きるトラブルもその場その時に解決できる
- 誰に聞けば良いかわからない、一旦持ち帰って確認するなどが必要となり手元のデバイスからピンポイントの箇所についてコミュニケーションできる

全履歴がアーカイブされる

- 過去の図面変更やコミュニケーション履歴が全部残っていて手元で確認できる。
- 後から振り返る時に、人に聞いたり探し物をする手間暇がなくなる。

結果、時間と人員に大幅な余力を創出

みんなの声で生まれた

インハンドのある現場の 9 の違い

<p>最新の工程表は誰が持っているかわからない</p>  <p>01</p> <p>全員共有ですばやく確認 ストレスレスの現場に</p>	<p>新しいシステムは難しい！ 年配には負担</p>  <p>02</p> <p>オンラインレクチャーに 加えて定期的なフォロー</p>	<p>監督が来ないから 確認が翌日に。現場が止まる</p>  <p>03</p> <p>即時共有で 問題事案を早期に解決</p>
<p>大事な図面が汚れてる！ これしかないのに</p>  <p>04</p> <p>画面の中で全員共有 汚れず破けず書き込める</p>	<p>昔の図面で進めていた！ 先祖返りは辛すぎる！</p>  <p>05</p> <p>最新の図面を全員で共有 不安を一気に解消</p>	<p>導入したいけど システムが高額心配</p>  <p>06</p> <p>月額制で現場経費に換算 しやすくトータルで割安</p>
<p>過去の図面が残ってない 何度も計算して大変！</p>  <p>07</p> <p>過去実績が残ることで 予習復習もしやすい</p>	<p>言った言わない問題による 下請けの辛さや活気の低下</p>  <p>08</p> <p>LINEのように使い勝手の いいコミュニケーション</p>	<p>現場を確認する移動や 連絡の時間的なロス</p>  <p>09</p> <p>撮影 & 共有で箇所の特定が 早く、段取りがスムーズ</p>

使い方

管理者（主に設計士・工務店）が、案件の新規登録を行います。施工報告と進捗も図面上で確認。
施工者は、手元のスマホで図面を確認。チャット機能およびカレンダー機能を活用し、施工を進めます。
inhandは、管理者権限を持つ管理者（主に設計士・工務店）と一般ユーザー（施工者）に分かれています。

管理者側（管理者のみの機能）

施工前に案件の新規登録

案件情報の登録

施工する建物の情報を登録

顧客情報の登録

施工を発注した顧客情報を登録



図面を登録

施工する建物の図面を登録



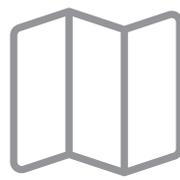
施工者側

※以下3つの機能スワイプにより各機能に遷移できる



チャット機能

- 図面を選択
- 図面にピンを置く
- チャット



図面機能

- 図面を選択
- 配置する製品の
詳細情報を確認
- 施工
問題有れば管理者に報告



カレンダー機能

- カレンダーを選択
- イベントの確認
- 進行確認
問題有れば管理者に報告



こんな会社



ABOUT

弊社は注文住宅、リフォーム等、大阪市内を中心に展開し営業しております。

ハウスメーカーとは違った地元の設計事務所として狭小間口の住宅から大規模の住宅。デザイン住宅などお客様に満足して頂けるような家づくりをご提供しています。

「妥協しない家づくり」をコンセプトに掲げるおりますが、家づくりは、将来を見据えたプラン設計、コストコントロールを考えた設備や仕様、インテリアの工夫や住宅ローンに関するプラン、各種税金について、と様々な事をお伝えしていかなければなりません。

ホームページでは伝えきれない様々な設計に対する姿勢や思いも含めて事務所には過去の施工事例を揃えておりますので、ぜひお客様とお会い出来ることを楽しみにお待ちしております。

お客様が思い描く「いい家」へのこだわりや夢の実現に向けて精一杯お手伝いさせていただきます。

商号	株式会社ウィズ建築設計
代表者	松井 隆幸
所在地	〒534-0014 大阪市都島区都島北通2丁目22-19-5F
電話 /FAX/ フリーダイヤル	06-6924-6686/06-6924-6687/0120-24-6686
E-Mail	info@with-limited.com
設立	平成16年3月18日
事業内容	建築工事の請負、設計、施工、監理業 不動産の売買、賃貸、仲介及び管理業 上記各号に附随する一切の事業
建設業許可	大阪府知事(般-1)第122561号
一級建築士事務所	大阪府知事登録(ロ)23276号
宅地建物取引業	大阪府知事(2)第55390号
保証協会	(社)大阪府宅地建物取引業協会会員 (社)全国宅地建物取引業保証協会会員
免許取得	一級建築士 二級建築士 一級施工管理士 宅地建物取引士

料金体系

キックオフ御礼特別プラン

inhand のキックオフを記念して期間限定の特別プランの実施中です。
この機会にぜひ inhand の良さをご体感ください。

アカウント数 **50** アカウント

プロジェクト数 **5** 現場

ストレージ **5** GB

主な機能

図面管理機能 ✓

スケジュール機能 ✓

チャット機能 ✓

サポート

メールサポート ✓

TELサポート ✓

料金体系 50アカウントまで・同時進行5現場まで月額¥30,000+消費税
51アカウント以上・5現場以上はご相談

初期設定費用 通常金額¥100,000+消費税 ※キャンペーン期間中は¥0

お試し期間 30日間

無料の機能 全ての機能が利用可能

導入後サポート 専門スタッフによる対応 (TEL・MAIL・ON-LINE)

支払い方法 金融機関引き落とし

契約期間

- A 基本12か月 自動更新
- B 36か月契約の場合 基本金額の10%off
- C 60か月契約の場合 基本金額の15%off